



皆様に愛され、信頼される病院を目指します

邑智病院だより

56号
2025/5

発行／邑智郡公立病院組合

夜に桜がライトアップされた健康公園を、新本館棟の屋上から撮影しました。

院長あいさつ



院長
山口 清次

新年度にあたって

今冬は2月上旬の10年に一度といわれる大寒波を含め3、4回の寒波があり、例年に比べ冬を長く感じました。しかし春分の（3月20日）を境に急に春らしくなり新年度を迎えました。今春邑智病院では総合診療科の木下アンリ先生、看護部7名をはじめ、総勢15名の新しい仲間を迎えました。患者さんによさしく風通しのよい職場環境を作ってゆきたいと思います。

邑智病院の組織も少し変わりました。長く事務部長であった口高武英氏は副院長として総合調整室を所管し、全国の医療関係機関と連携、診療部門の調整や自立プロジェクト（管理会計）を担当します。そして地域連携室長を兼ねて、近隣の医療・介護・福祉機関との調整をしていただきます。また人事交流の一環として事務部の朝枝照見係長を邑南町へ派遣し、邑南町役場から三上和彦氏が来られましたので、事

務部長として主に院内の事務業務を統括していただきます。

昨年に新本館棟が竣工しましたが、新棟に隣接するA棟、B棟が改修工事中で、回復期病棟はまだ移転できずご迷惑をおかけしています。5月末を目処に改修工事が終わり6月に新しいところに移転する予定です。もうしばらくご辛抱をお願いします。

先日島根大学病院の椎名病院長を訪問しました。病院長は話の中で「島根大学病院に地域小児救命救急センターを最近設置した。島根県では目の前の高齢者医療福祉が大きなテーマだが、支えるのは若い人たちである。10年後20年後を見据えて小児や若い女性が住みやすい環境を作ることが、産業、教育と同様に地方創生に欠かせないと考えている」と強調されていました。邑智郡では早くから子ども政策を重要視してきていますが、今後さらに邑智郡3町の行政機関と町民が一体となって人口減少にブレーキをかけ「地方創生」に向けて頑張りましょう。

最後に、4月に入って「トラップ旋風」が吹き荒れています。米国民が選んだのだから日本人がいうべき筋合いではありませんが、先の見えない時代です。ブレない生き方を大切にしてゆきましょう。

令和7年度辞令交付式を行いました！

4月1日（火）に、当院の研修棟で辞令交付式を行いました！大屋管理者と山口院長から歓迎のあいさつがあり、主要職員3名と新規採用職員代表で木下アンリ医師が

辞令を受けました。今年度も多くの新規採用職員の皆さんを迎え、院内はフレッシュな空気に満ち溢れています！新年度から気持ちも新たに、頑張ります！



大屋管理者から辞令を受け取りました★



大屋管理者、山口院長からのあいさつ



職員人事交流



邑南町医療福祉政策課係長
朝枝 照見



邑智病院から邑南町へ

4月の人事交流によって、邑南町から派遣され事務部に着任しました。公立邑智病院へ派遣されるのは2回目となりますが、その時と状況が大きく変化していますし、わからないことも多く、職員と協力しながら、一つ一つ前に進めていきたいと考えています。

公立邑智病院は、川本町、美郷町、邑南町の3町で組織する邑智郡公立病院組合が運営しています。3町と協議しながら事業を進めてまいります。

地域医療のために頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。



事務部長
三上 和彦

邑南町から邑智病院へ



診療部の紹介

NEW



木下 アンリ

島根県立中央病院での研修を終え、4月より邑智病院へ参りました木下アンリといたします。患者さんに寄り添った医療を目指し頑張ります。当地域のことについて勉強中ですので、皆様よりご教授いただけますと幸いです。よろしくお願いします。

＼ 頑張るぞー /



総合診療科

酒井 和久



板持 卓弥



米山 真里菜



上田 智広



小児科

山口 清次



産婦人科

荘田 恭仁



整形外科

保坂 聖一



外科

三上 学



泌尿器科

結城 康平



麻酔科

上田 愛瑠萌



歯科

佐々木 和起



よく
お願いします



今年度も常勤医師12名の常勤医師・歯科医師で診療を行っています！

医療支援センターの紹介



✓医師・看護師・医師クラークのチームで✓



市木診療所をご紹介



公立邑智病院附属市木診療所

島根県邑智郡邑南町市木 2161-1

☎ 0855-85-0070

診療日：月曜、水曜、金曜

診療時間：14:00～16:00

令和6年10月に開所し、半年が経ちました。今年度も変わらず月・水・金曜日に医療スタッフが邑智病院から出張しています。今年度から診療時間を14時～16時に変更しておりますので、ご確認よろしくお願い致します。

これからも緊急時には邑智病院とスムーズな連携を行い、皆様に安心していただけるよう努めます。

お問い合わせは、
医療支援センター

☎ 0855-95-2111

※訪問看護の件とお伝えください。

今年度から訪問看護事業がスタートしました。公立邑智病院として初めての事業であり、皆様にご心配をおかけすることもあるかと思ひます。

看護師及び准看護師の2名がご自宅へ訪問し、患者さんの看護ケアや処置を行っています。

訪問看護が始まりました

訪問看護師のある日の様子



気合入れて
行って参ります！
※2名で訪問する
場合もあります

訪問車に
乗り込み、
いざ出発！！



今日も
頑張るぞ！

必要な医療材料を準備



地域連携室の紹介

新病院では1階の外来診療場所付近に事務所があります。扉がピンク色で明るい入口です、診療の相談や退院に向けての支援があれば気軽にお声がけください。



今年度から日高武英副院長が兼務で室長を務めています。

4月には、邑智郡地域連携推進協議会（医療・福祉・介護機関等83団体で組織）所属の関係機関を訪問させていただきました。

係長 天野 久子



薬剤部の紹介

薬剤部は「薬局実務チーム」と「薬物生体支援チーム」にわかれ、服薬指導や調剤業務などに加え、各種カンファレンス等に参加し薬剤師の視点から、薬物療法の有効性と安全性の向上に努めています。

服薬指導

患者さんの服用している薬の飲み方や注意点など定期的に説明し、さらに副作用の早期発見に努めています。



カンファレンス

多職種でよりよい医療の提供のため協議を行います。



持参薬確認

入院患者さんが服用している薬剤を確認します。



診療技術部の紹介

診療技術部は臨床検査科、画像診断科、リハビリテーション科、栄養管理科、臨床工学科、歯科の6科があり、すべての科に国家資格をもつ職員が所属しています。総勢46名で業務を行っており、今回はその中から栄養管理科をご紹介します。

診療技術部長
左田野 恵三



厨房に潜入!!

1台でなんでもできちゃう!多機能型調理器を導入しています!



盛り付けも、一人分ずつ手作業で行っています



栄養管理科

1人ひとり配膳棚に並べて、運んでいます



患者さん一人ひとりに合わせたお食事を提供しています



Comment

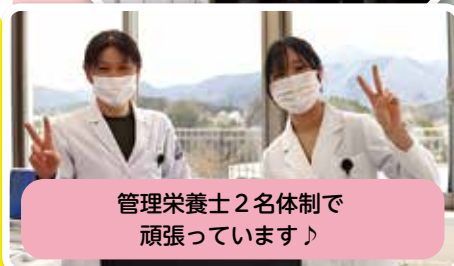
管理栄養士からの一言紹介

栄養管理科は、新棟で最新の調理機器を使用して、安心・安全な食事を提供しています。

また、事務室からは冠山が見え、季節を感じながら毎日仕事をしています!



管理栄養士
今岡 好美



管理栄養士2名体制で
頑張っています♪

新しく導入しました!!

診療技術部医療機器のご紹介



画像診断科

新本館棟に導入した画像撮影機器の紹介

新本館棟建て替えに伴い、CT (Computed Tomography) 装置とMRI (Magnetic Resonance Imaging) 装置を更新しましたので紹介します。

画像診断科 主任 川中 卓



今回導入したCT装置では画像を作成する過程にAI(人工知能)による処理を導入することで、前装置と比較してより低い被ばく線量で高画質な画像を取得することができるようになりました。またワークステーション(画像作成ソフト)を更新したことにより様々な領域の3D画像をより詳細に作成できるようになりました。さらに検査に対する不安感を少しでも軽減できるよう、明るく清潔感のある空間を目指して部屋の床材、壁紙の選定を行いましたので検査を受けられる際はそちらにもご注目いただけたらと思います。

CT装置の紹介



胸部3D画像



AIR Coils

MRI装置もCT装置と同様に画像を作成する過程にAIによる処理を導入することで、短時間(前装置の2/3程度)で高画質な画像を取得できるようになりました。また装置のボア径も60cmから70cmに変更し、コイルも軽量でやわらかい形状のもの(AIR Coils)を導入しましたので従来と比較して患者さんの負担が少ない検査が行えると考えております。

MRI装置の紹介



★新しくなった装置の機能をフルに生かし、安全で安心な検査を提供してまいります★

リハビリテーション科



嚥下障害に対する電気刺激放について

今回、当院で新たに導入した嚥下リハビリテーション用の医療機器をご紹介します。

言語聴覚士 和田 勇一

ジェントルスティム



気になることがあれば、総合診療科へご相談ください。

飲み込む感覚がはっきりしてくると飲み込むタイミングがつかみやすくなり、ムセ込みや誤嚥の予防にもつながります。痛みの少ない電気刺激を効率よく神経に作用させることが可能で、電気刺激が苦手な方でも使用しやすい機器となっております。飲み込みのことなどで

ジェントルスティムは、飲み込む力が弱くなった方のために、のどや口周りにやさしい電気を当てて、飲み込む動きをサポートするリハビリ機器です。主に、飲み込みのタイミングが遅れやすい方を対象に使用します。



事務部(総務管理課・医事経営課)の紹介

事務部は事務部長以下、総務管理課8名、医事経営課22名(うち医師クラーク8名、保育士4名)の計31名の部署です。

事務部として所管する業務を一人ひとりがしっかりと対応し、病院の運営に寄与していきます!!



**診療補助
スタッフ**

患者さんに寄り添い
医師の診療補助を担います



医事係

データをもって提案します

管理係

建物の異常に
駆けつけます

総合調整室の紹介



その時、その瞬間を撮る。その難しさと戦っています。院内で見かけた際には、暖かい目で見守ってください!

新しくできた **総合調整室**
どんな仕事?



院長室にて院長・副院長と協議。
スケジュール確認や
視察取材の受け入れ等を調整。



総合調整室 係長
日野 千晶

今年度から新たな部署として総合調整室ができました。室長は日高武英副院長が兼務で担っています。

この部署は、院長・副院長秘書業務を活かして、広報など対外的に病院のPRをしていきます。

また院内では、診療体制、病院研修、管理会計など部門を横断的に調整する部署として業務しています。

広報担当として
カメラを持って院内を
走り回ります。



看護部の紹介



看護部長
日高 美晴

2025年度、看護部は7名の新規職員を迎えました。昨年度に引き続き新人看護師の入職もあり今年度は4名の新人看護師を受け入れました。看護部総勢84名にぎやかなスタートです。また、人事異動によりそれぞれの部署で新しいチームが編成され、訪問看護も始まりました。

新本館棟になって初めての年度始め、6月には地域包括ケア病棟の引越しを控え、みんなで力を合わせてグランドオープンに備えます。新しくなった建物に負けないように私たち看護部もよい病院を目指して頑張りますので、今年度もよろしく願います。

さて、この広報では新しいチームになった看護部をシリーズで紹介していきます。

まずは急性期病棟。新人看護師2名を含む3名の入職者、2年目の看護師3名、先輩看護師4名、その奮闘ぶりをご紹介します。

急性期病棟のご紹介



急性期病棟 師長
左田野 由紀

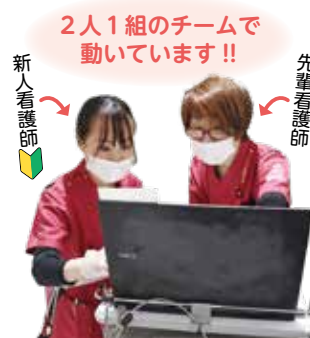
急性期病棟は異動職員、新入職員を迎え、総勢33名でのスタートとなりました。

若手の看護師が増えて病棟内が生き生きとしています。引き続き患者さんに寄り添い、全スタッフで教え合い学び合い最善な看護を提供できるよう頑張ります。



新人看護師の指導

先輩看護師から新人看護師が患者さんのケアについて日々学んでいます。



2人1組のチームで動いています!!

新人看護師

先輩看護師

若手看護師活躍中です

日々新しいことの発見で、勉強中の若手看護師!「積極性」を大切に、奮闘しております!!

患者さんの病態について
チームでカンファレンス
をしています!



急性期病棟に!!
新たに3人の仲間が加わりました



多久和 奈那子

地域の皆様が健康で安心して過ごすことができるよう頑張っていきます。よろしくお願いいたします。



寺本 優花

幅広い疾患に対応できる力を養い、患者さん一人ひとりのニーズに合った個別性のある看護ができるよう、努力いたします。



服部 有紀

幅広い知識や技術を身に付け対応できるようになることはもちろん、コミュニケーションなどの基本を忘れず、信頼関係を築いていけるようなかかわりができるように頑張りたいです。

部署異動してきました

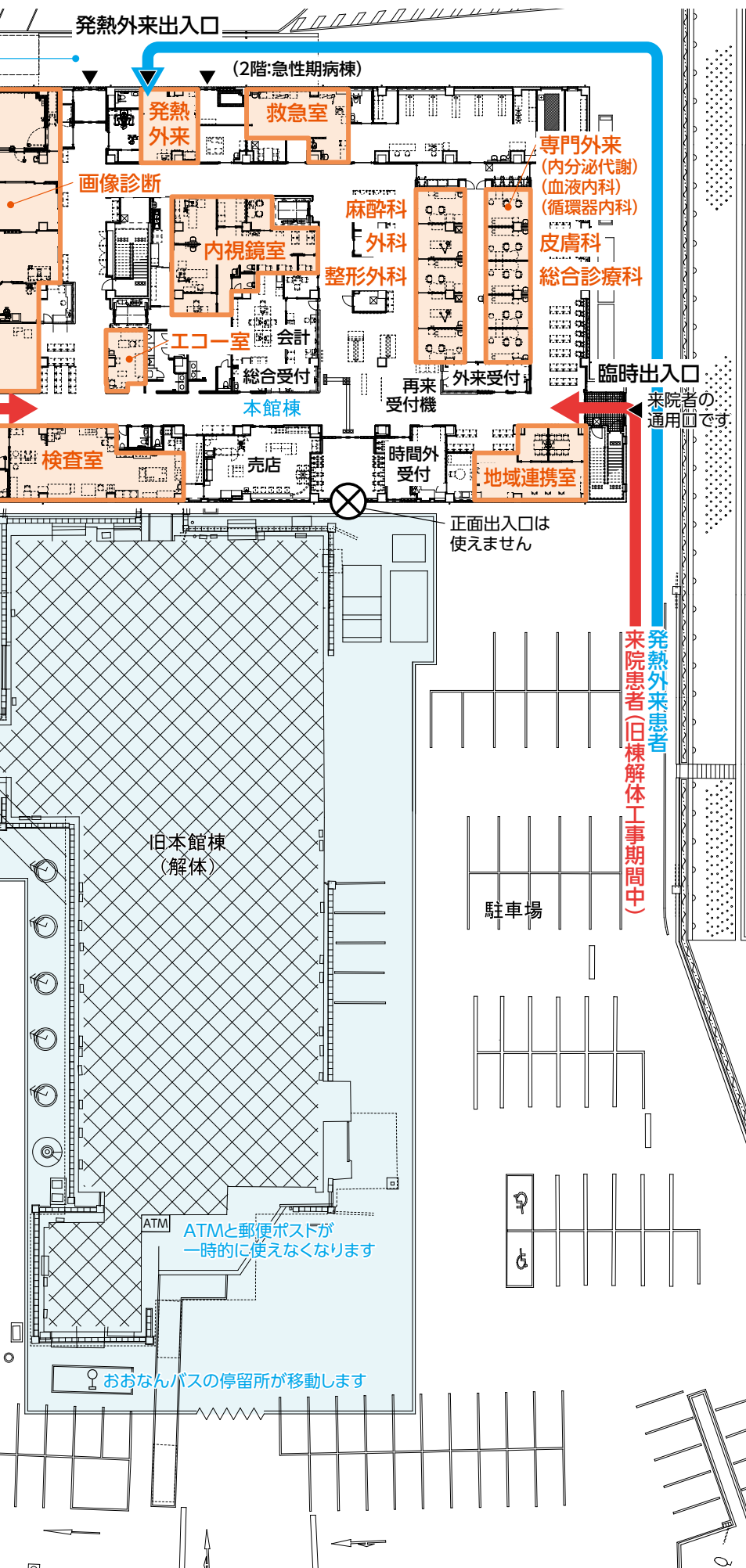
ベテランと若いスタッフが融合した年齢・経験の差が大きい面白いメンバーとなりました。互いを補い合いながら楽しく看護をしていきたいと思っています!



2年目看護師



先輩看護師



本館棟建て替え通信

Vol.12

総務管理課

「本館棟建て替え事業」の進捗を、担当の総務管理課職員がレポートします。



既存棟(A・B棟)の改修工事があとわずかです。

昨年10月から進めてきました、既存棟A棟(旧新館棟)・B棟(旧新館別棟)の改修工事也大詰めを迎えています！現在は、新本館棟との連絡通路の接続や、内装仕上げ作業を急ピッチで進めております。

A棟・B棟が完成した後の外来診療体制について

6月16日からは、リニューアルしたA棟・B棟と本館棟を含めて、全ての診療場所を稼働することができるようになります。リハビリテーション、産婦人科、小児科、泌尿器科は元の場所に戻り、連絡通路を

通って行き来することが出来ます。左図にて皆さまの動線等をご説明します。

今後は、残る旧本館棟の解体と正面出入口まわりの整備を進めてまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

発熱外来等で来院の方で車を停止される場合は
こちらの乗降場をご利用ください

(2階:回復期病棟)

A棟・本館棟連絡通路

リハビリ
テーション

歯科

透析室

産婦人科

専門外来
(精神科)

B棟

泌尿器科

A棟

キッズ
スペース

小児科

談話
スペース

研修棟

保健センター

社会福祉協議会

車庫



将来を見据えて工事関係者と協議を重ねています。



友好病院提携

公立芽室病院の最近のうごき

1/27 公立邑智病院から日高副院長ら5名が来町

友好病院である公立邑智病院から、日高副院長ら5名の職員が芽室町に来町されました。当院が2年前から取り組んでいる「部門別原価管理会計システム」は邑智病院が先駆けて取り組み、当院は常に参考としお手本とさせていただいています。今回は総合診療科医師・看護師・調理師・診療補助スタッフと多職種の職員の皆様に訪問いただき、当院での取り組みについて、ご助言をいただきました。

さらに日高副院長より友好病院報告会において「公立邑智病院 新本館棟竣工(新棟での新たな取り組み)」と題し、新しい病院での先進的な取り組みをお話いただきました。



日高副院長と邑智病院の皆様の報告に約70名の職員が自主参加し、映像に触れ話に聞き入った。

2/4 統計史上最高の大雪…

テレビ等でも報道されましたが、令和7年2月4日に当町を含む十勝地方は記録的な大雪に見舞われました。降った雪の量は、午前9時までの12時間で105センチの降雪を観測し、統計開始以来最大の積雪量となりました。この記録的な大雪により、道路は完全に雪に埋もれ、交通機関もほぼ全てストップする事態となりました。急な大雪のため転倒される方が多く搬送されるなど、緊急事態となりましたが、雪に阻まれ出勤できない職員もいる中、病院までたどり着いた職員が一致団結し、診療に当たりました。



2月4日の大雪に見舞われた病院。前日まで積雪がなく、路面も見える状況から、未明から昼にかけて1メートル以上の積雪となった。



3月に入り、一気に雪解けが進む芽室町。同じアングルから撮影したが、1カ月で一気に春の気配を感じるようになった。



四方教授ら4名が登壇。多くの町民が集まった。

2/22 地域医療フォーラム開催

地域包括ケアシステムの医療分野の中心として、芽室町を中心とした医療を展開している当院の役割や『これからすべきことを考える』ために企画・開催した地域医療フォーラム(公立芽室病院をみんなで支える会と共催)。京都府立医科大学の四方哲教授や当院のリハビリ部門強化のコンサルタントである三好貴之氏(株式会社メディックプランニング代表取締役)の講演のほか、当院の研谷智院長と岡山有美子総看護師長が登壇しました。会場には約150名が来場され、熱心に耳を傾けていらっしゃいました。



「針を刺さずに

血糖チェック!?

持続血糖測定器の

ご紹介」

今回の
テーマ



総合診療科
上田 智広

う え だ と も ひ ろ

糖尿病治療の分野では、次々と先進的な血糖測定機器が登場し、患者さんの選択肢が広がっています。

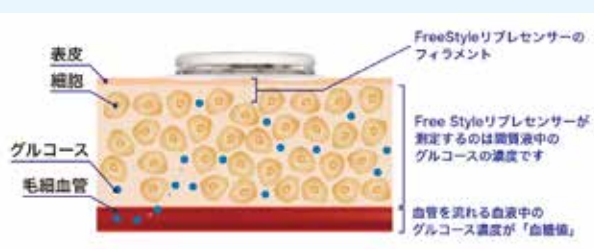
当院でも導入している「持続血糖測定器…フリースタイルリブレ（注1）」は、糖尿病治療や血糖管理をより快適にサポートする新しいタイプの測定器です。500円玉ほど



(注1)

のサイズの小さなセンサーを腕に貼るだけで、体内の糖の値を24時間自動で記録してくれるため、従来のように指先から採血する必要がなく、痛みや手間を軽減できます。

この持続血糖測定器は、皮下に挿入されたセンサーフィラメントを通じて、間質液中のグルコース濃度（注2）を継続的に測定します。



(注2)

実際の血糖値との間には数分のタイムラグがありますが急激な変化のない食前などのタイミングでは、ほぼ一致した値が表示されます。センサーの装着も簡単で、専用の

器具を使って腕にスタンプを押すような動作（注3）をするだけ。わずかな秒で装着でき、自宅でも可能です。（注3）



(注3)

装着から約60分後には血糖値の確認ができるようになります。センサーは上腕に貼り付け、最大14日間使用可能で防水性も備えているため、シャワーや入浴中でも使用できます。装着中は、常に血糖値の変化をモニタリングしてくれます。

測定方法も非常に簡単で、スマー



(注4)

トフォンの専用アプリや読み取り機（注4）を使って、センサーに「ピッ」とかざすだけで、現在の血糖値、過去の変動、さらに将来の予測まで確認することができます。さらに、設定した血糖値の範囲を超えた場合に音や振動で知らせてくれるアラーム機能も搭載。特に気づきにくい夜間の低血糖にも、いち早く対応できるため、安心感がありま

す。加えて、遠隔モニタリング機能を活用すれば、ご家族や介護者がリアルタイムで血糖値を把握することも可能です。

持続血糖測定器はインスリン治療を受けている糖尿病患者さんに対して保険適用となっています。費用は、1250点（12,500円）の1〜3割負担となり、月あたり1,250円〜3,750円ご利用いただけます。ただし、装着中はCTやMRI検査が受けられませんので、検査予定がある方はご注意ください。

このシステムを活用することで、「どのような食事や運動、薬が血糖にどのように影響しているのか」といった体の傾向を、数字やグラフで視覚的に把握でき、日々の血糖管理がしやすくなります。たとえば、「どんなときに血糖値が上がしやすいか」「どんな運動で下がるか」といった情報も確認できます。センサーの装着方法や使用方法については、内科および総合診療科のスタッフが丁寧にご説明いたしますので、ご不明な点がありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

悠山亭日記

「邑智歳時記2」の巻

その9



名誉院長

石原

晋

薫風の候、心浮き立ついい季節になってまいりました。皆さん、歩いておられますでしょうか。心と体の健康のためには、歩くのがなによりであります。

勤めや耕作をリタイアされ、動く機会が少なくなった方は特に、一日八千歩（厚生省身体活動運動ガイドライン）、それが無理ならできる範囲で、しっかりと歩きましょう。ごろごろしてばかりいると要介護、認知症へとまっしぐらですぞ。

私もほぼ毎日歩いております。ノルディックのポールを持って歩けば、楽しさ倍増、飽きるということがありません。

四季折々の風景や草花に癒されながら歩いていると、なにやら俳句のようなものができてくる、それもまた一興なのであります。

如月

久方の冬晴れなれや鴉がかあ



矢上大畑谷

悠山

弥生

名残り雪ひとひら載せて三分咲き



悠山亭

悠山

卯月

水張れば蛙かしまし月やさし



悠山亭

悠山

チューリップ然まで粧して

なんとする

悠山

文月

好日や初穂に埋もる野良の人



矢上力沢谷

悠山

葉月

七重八重山脈青しわれは喜寿



悠山

昨年の夏、西日本最高峰の石鎚山で喜寿の誕生日を迎えました。

喘ぎながら頂上にたどり着いて振り返れば連綿と続く山脈が、わが人生の来し方に重なります。

長かったような短かったような。

翌朝は御来迎（ブロッケン）に会い、ありがたい祝福を頂きました。

いまここぞ滝雲に立つ御来迎



石鎚山頂上にて

悠山

リハビリテーション科
理学療法士

伊東 晃一

日本人の約3000万人が抱えていると言われる「腰痛」は、腰を主とした痛みや不快感が生じる疾患です。骨などへの負担の他にも、さまざまな要因が腰痛の発症に関係していることが分かっています。過度の安静や痛みへの不安を抱えてしまうと、腰痛慢性化の原因になると言われています。今回は、効果的な運動や予防に必要な知識を紹介していきます。

●腰痛の種類

腰痛症のうち、レントゲン写真やMRI画像などで原因部位がはっきりしている腰痛を「特異的腰痛」といいます。具体的には、骨折、椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症等があります。

また腰痛のうち、ぎっくり腰のように原因がはっきりしない腰痛を「非特異的腰痛」といいます。過度の不安や安静は腰痛を長引かせ、再発の原因にもなると言われています。

●腰痛のセルフチェック

図のように腰を曲げた際に痛みが出る場合は、腰を伸ばす運動が効果的です。反対に腰を伸ばした際に痛みが出る場合は、腰を曲げる運動が効果的とされています。



●腰痛体操

「前後運動」

①丸めたタオルをお尻のてつぱりに当たるように敷き、腰を掛けます。手を前で組み、息を吐きながら上体を後ろへ、みぞおちを中心にしまつイメージで丸めます。

②息を吸いながら前へ、みぞおちを突き出すように上体を移動させます。



Point

前へ行くときは腰を反らないように！胸を開くイメージです。

「円を描く運動」

①手を前で組み、おしりで円を描いていきます。できるだけ大きく、頭の位置もできるだけ変わらないようにして、体幹部分をしっかりと回しましょう。

②逆回転です。右前・右後・左前・左後。苦手な方向へ重点的に動かしましょう。



Point

息を止めずに、自然に呼吸しながら運動をしましょう。

各運動を10～15回実施し、2～3セット行いましょう。

注意点

- 無理に伸ばさず痛みの出ない範囲で運動をしましょう。
- 呼吸を止めずに自然な呼吸を続けましょう。
- 運動で痛みが増す時は速やかに中止し、医師などに相談ください。

【参考文献】

・理学療法ハンドブック シリーズ3 腰痛 第2版
公益社団法人 日本理学療法士協会

連携

Vol.26

～障害者相談支援事業所編～

「サポートステーションおりぶ」

相談支援専門員 三浦 健史

社会福祉法人邑智福祉振興会は、邑南町の石見地域で障がい福祉サービス事業所を運営しています。主な事業内容は、障がい児者施設入所支援、生活介護、就労継続支援B型、共同生活援助（グループホーム）、居宅介護支援、放課後等デイサービス、相談支援事業があり、日々、利用者の方一人ひとりの希望に寄り添った支援を提供しています。

また、それぞれの立場で感じている地域課題の共有、改善に向けての協議等、様々な場面で協力をいただいています。これからも、利用者の皆様が地域で安心・安全に生活していけるよう、サポートさせていただきます。

相談支援事業所サポートステーションおりぶでは、障がいのある方からの困りごとなどの相談、福祉サービス利用についての希望などをお受けし、ご本人の状況に合った支援と一緒に考えながら、希望される福祉サービスの利用や専門機関へ繋げることを業務としています。

公立邑智病院との連携については地域連携室を中心に地域で生活している方の受診調整、退院後の生活に



～相談支援の様子～



自立搬送ロボット「HOSPI」の顔、 いくつか知ってますか??

前回の第55号でもご紹介した自立搬送ロボット「HOSPI」(ホスピー)くん!
もう院内で見かけられた方もいらっしゃるかもしれません。
そんなHOSPIくんには表情がいくつかあることをご存じでしょうか!
ここでご紹介したいと思います♪

ノーマルHOSPIくん



顔の下には行先が表示されています♪



キョロキョロ

エレベーターにも
自分で乗るよ♪



指定された場所に
おつかいに行くよ♪

充電中…

ZZZ…



障害物回避中



ムッ

一定の距離に近づくと、センサーが反応し、動きが止まります!

また院内で見かけたらチェックしてみてくださいね♪

看護師、臨床検査技師、臨床工学技士、社会福祉士募集中

「邑智病院で働いてみたい!」という方!!

見学や相談も可能です!! 詳しくは邑智病院総合調整室までお問い合わせください!!



寄付の御礼

寺本果樹園 寺本秋穂様・直人様より
ご寄付をいただきました。ありがとうございます。

採用試験を含む病院の情報をホームページに掲載していますのでご覧ください。
facebook・instagramでも積極的に情報の発信を行っていますのでフォローお願いします。

お問い合わせ先

邑智郡公立病院組合 公立邑智病院
TEL 0855-95-2111 FAX 0855-95-2313
〒696-0193 島根県邑智郡邑南町中野3848-2

ホームページアドレス
<https://www.ohchihospital.jp>

邑智病院 検索

病院基本方針

- ① 患者さんを家族と思い、良質で親身な医療を提供します。
- ② 職員同士がお互いのやりがいと誇りを尊重しあう、暖かい職場をつくります。
- ③ 明るく清潔で快適な療養環境の維持向上に努めます。
- ④ 地域に信頼されるよう、健全な経営に努めます。



Facebook



Instagram



ホームページへ